

2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月3日

上場会社名 セキ株式会社
 コード番号 7857 URL <http://www.seki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年2月4日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 関 宏孝
 (氏名) 吉川浩司
 TEL 089-945-0111

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,068	2.7	43		230	139.9	186	312.7
2021年3月期第3四半期	8,293	9.5	82		96	43.1	45	54.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 194百万円 (56.5%) 2021年3月期第3四半期 446百万円 (102.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.87	
2021年3月期第3四半期	10.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	17,043	14,286	81.4	3,331.61
2021年3月期	18,246	14,201	75.6	3,310.85

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 13,877百万円 2021年3月期 13,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		12.00		12.00	24.00
2022年3月期		12.00			
2022年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	3.3	120	4.8	280	15.6	180	10.8	43.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	4,508,000 株	2021年3月期	4,508,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	342,557 株	2021年3月期	342,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	4,165,443 株	2021年3月期3Q	4,165,443 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及や緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除により、景気の持ち直しの兆しが見られておりましたが、新たな伝播性の高い変異株の発生により再び世界的に感染が拡大、先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした情勢のもと、当社グループにおきましては、顧客の在宅ワーク継続により提案活動が停滞、各種イベントの開催規模の縮小や延期が続く中、アフターコロナを見据えた営業活動への取り組みの強化を継続しております。

非常に厳しい事業環境下、売上高は80億6千8百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益4千3百万円（前年同四半期比は8千2百万円の営業損失を計上）、経常利益2億3千万円（前年同四半期比139.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億8千6百万円（前年同四半期比312.7%増）となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という）等の適用により、売上高および売上原価はそれぞれ3億9千2百万円減少しております。

また、昨年11月4日付公表の2022年3月期第2四半期決算短信においてお知らせしましたとおり、当社は本年4月4日付で東京証券取引所の新市場区分「スタンダード市場」へ上場予定です。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

①印刷関連事業

新型コロナウイルス感染拡大の厳しい状況下、コロナ禍における経済活動を支援する各種補助事業の事務局運営の継続や、アフターコロナを見据えた営業活動への取組みの強化などにより、売上高59億8千万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益6千3百万円（前年同四半期は1千8百万円の営業損失を計上）を計上しました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高及び売上原価はそれぞれ1億8千7百万円減少しております。

②洋紙・板紙販売関連事業

昨年度の需要減の反動による印刷事業者からの用紙受注の増加等により、売上高2億6千6百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業損失2千5百万円（前年同四半期は3千3百万円の営業損失を計上）を計上しました。

③出版・広告代理関連事業

新型コロナウイルス感染拡大による企業の広告出稿の抑制、各種イベントの中止・延期が続き、売上高6億9千9百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業損失2千2百万円（前年同四半期は5千3百万円の営業損失を計上）を計上しました。

④美術館関連事業

セキ美術館では、ワクチン接種の普及や緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除により、道後温泉地区を訪れる観光客が戻り、売上高1百万円（前年同四半期比10.7%増）、営業損失1千9百万円（前年同四半期は1千8百万円の営業損失を計上）を計上しました。

⑤カタログ販売関連事業

新型コロナウイルスの感染拡大の厳しい状況下、巣ごもり需要の拡大により個人向けの販売は引き続き好調でしたが、収益認識会計基準等の適用により、売上高が2億4百万円減少した影響で、売上高は1億2千万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。一方で同額の売上原価も減少したことから、営業利益4千6百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ12億2百万円減少し、170億4千3百万円となりました。これは主に、投資有価証券が34億円と前連結会計年度末と比べ4億8千9百万円増加しましたが、現金及び預金が37億9百万円と前連結会計年度末と比べ16億1千1百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ12億8千7百万円減少し、27億5千7百万円となりました。これは主に、預り金が1億8千3百万円と前連結会計年度末と比べ10億3千3百万円減少したことや支払手形及び買掛金が7億7千5百万円と前連結会計年度末と比べ1億6千4百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ8千4百万円増加し、142億8千6百万円となりました。これは主に、利益剰余金が114億8千5百万円と前連結会計年度末と比べ8千2百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年5月14日公表の通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示を行う予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,321,611	3,709,980
受取手形及び売掛金	2,627,622	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	* 2,721,449
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	127,180	150,067
仕掛品	302,221	273,716
原材料及び貯蔵品	120,054	129,939
未収還付法人税等	839	18,284
その他	25,625	64,148
貸倒引当金	△27,379	△26,083
流動資産合計	8,499,775	7,043,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,399,015	4,419,148
減価償却累計額	△2,269,009	△2,371,795
建物及び構築物 (純額)	2,130,006	2,047,352
機械装置及び運搬具	5,005,417	5,532,465
減価償却累計額	△3,786,108	△3,983,274
機械装置及び運搬具 (純額)	1,219,309	1,549,190
工具、器具及び備品	1,838,470	1,850,069
減価償却累計額	△468,453	△488,278
工具、器具及び備品 (純額)	1,370,017	1,361,791
リース資産	21,867	21,867
減価償却累計額	△15,955	△17,557
リース資産 (純額)	5,912	4,310
土地	1,229,979	1,229,979
建設仮勘定	463,905	—
有形固定資産合計	6,419,129	6,192,623
無形固定資産		
ソフトウェア	38,376	29,399
その他	6,659	5,408
無形固定資産合計	45,035	34,808
投資その他の資産		
投資有価証券	2,911,316	3,400,711
長期貸付金	11,552	9,666
繰延税金資産	19,195	14,829
その他	344,498	351,613
貸倒引当金	△4,020	△3,996
投資その他の資産合計	3,282,542	3,772,824
固定資産合計	9,746,708	10,000,256
資産合計	18,246,483	17,043,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,486	775,034
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	73,992	73,992
未払法人税等	71,494	29,143
賞与引当金	136,793	83,614
預り金	1,216,994	183,760
その他	447,543	475,293
流動負債合計	2,936,303	1,670,839
固定負債		
長期借入金	432,354	390,360
繰延税金負債	159,971	187,618
退職給付に係る負債	402,611	395,883
資産除去債務	3,544	3,570
役員退職慰労引当金	5,632	6,457
未払役員退職慰労金	89,633	88,433
その他	15,157	14,493
固定負債合計	1,108,905	1,086,816
負債合計	4,045,209	2,757,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	11,402,860	11,485,737
自己株式	△503,461	△503,461
株主資本合計	13,434,599	13,517,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371,573	372,854
退職給付に係る調整累計額	△14,999	△12,682
その他の包括利益累計額合計	356,574	360,172
非支配株主持分	410,100	408,454
純資産合計	14,201,274	14,286,103
負債純資産合計	18,246,483	17,043,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	8,293,933	8,068,207
売上原価	6,531,377	6,162,979
売上総利益	1,762,555	1,905,227
販売費及び一般管理費		
配送費	142,148	132,768
給料及び手当	708,262	697,601
貸倒引当金繰入額	853	-
賞与引当金繰入額	45,913	46,854
退職給付費用	28,206	27,191
役員退職慰労引当金繰入額	824	824
その他	918,520	956,347
販売費及び一般管理費合計	1,844,728	1,861,587
営業利益又は営業損失(△)	△82,172	43,640
営業外収益		
受取利息	31,143	86,483
受取配当金	25,878	30,096
物品売却益	16,569	17,230
貸倒引当金戻入額	38,673	1,309
仕入割引	7,019	7,362
その他	69,941	53,462
営業外収益合計	189,225	195,945
営業外費用		
支払利息	4,343	3,854
売上割引	1,122	1,011
賃貸収入原価	2,189	2,646
投資顧問料	1,540	577
その他	1,668	695
営業外費用合計	10,864	8,785
経常利益	96,188	230,800
特別利益		
固定資産売却益	379	-
投資有価証券売却益	17,629	62,870
特別利益合計	18,009	62,870

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	997	13
固定資産除却損	2,353	790
投資有価証券売却損	11,364	702
特別損失合計	14,715	1,506
税金等調整前四半期純利益	99,482	292,163
法人税、住民税及び事業税	28,935	80,147
法人税等調整額	22,079	22,976
法人税等合計	51,015	103,123
四半期純利益	48,466	189,040
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,177	2,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,288	186,888

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	48,466	189,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	395,586	3,053
退職給付に係る調整額	2,421	2,300
その他の包括利益合計	398,007	5,353
四半期包括利益	446,474	194,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,530	190,486
非支配株主に係る四半期包括利益	7,943	3,907

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月11日 定時株主総会	普通株式	49,985	12	2020年3月31日	2020年6月12日	利益剰余金
2020年11月5日 取締役会	普通株式	49,985	12	2020年9月30日	2020年12月1日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月17日 定時株主総会	普通株式	49,985	12	2021年3月31日	2021年6月18日	利益剰余金
2021年11月4日 取締役会	普通株式	49,985	12	2021年9月30日	2021年12月1日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、当社グループが代理店取引などの代理人として関与したと判定される取引及び有償支給取引について総額で売上高に計上していましたが、純額で計上する方法に変更しております。また、返品されると見込まれる商品及び製品の売上高及び売上原価相当額を除いた額を売上高及び売上原価として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は392,051千円減少し、売上原価は392,051千円減少しております。また、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益びに期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※ 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
受取手形	— 千円	62,383千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	6,044,220	258,299	739,401	1,660	1,250,351	8,293,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	198,126	710,491	35,876	—	—	944,495
計	6,242,347	968,790	775,278	1,660	1,250,351	9,238,428
セグメント利益又は損失(△)	△18,394	△33,270	△53,078	△18,123	40,487	△82,378

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△82,378
セグメント間取引消去	205
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△82,172

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	5,980,070	266,109	699,311	1,838	1,120,878	8,068,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	129,662	740,216	79,819	—	—	949,698
計	6,109,733	1,006,326	779,130	1,838	1,120,878	9,017,906
セグメント利益又は損失(△)	63,751	△25,055	△22,578	△19,228	46,378	43,267

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	43,267
セグメント間取引消去	372
四半期連結損益計算書の営業利益	43,640

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「第4 経理の状況」「1 四半期連結財務諸表 注記事項 (会計方針の変更等)」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「印刷関連事業」の売上高が187,345千円減少、「カタログ販売関連事業」の売上高が204,705千円減少しております。なお、セグメント損益に与える影響は軽微であります。

(収益認識関係)

顧客と契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

印刷関連事業	
出版・商業印刷物、紙器加工品	4,766,444
新聞印刷	1,213,626
洋紙・板紙販売関連事業	
洋紙・板紙	266,109
出版・広告代理関連事業	
出版・広告代理店収入	699,311
美術館関連事業	
美術館収入	1,838
カタログ販売関連事業	
カタログ販売・製作	1,120,878
顧客との契約から生じる収益	8,068,207
その他の収益	—
外部顧客への売上高	8,068,207